

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年6月21日(水)

施策		子育て支援の充実	期間	令和5年～令和9年	施策担当部署	子ども未来部	子ども青少年課
総合計画	大項目	1 健康でいきいきと暮らせるまち	目的・対象				
	中項目	1 健やかに成長できるまちづくり					
	小項目	1 子育て支援の充実					
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	子育て家庭に対する支援の充実に対する市民の重要度は高く、満足度は高くなっています。		施策推進のための主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての経済的負担を軽減します</li> <li>・地域における子育て支援を行います</li> <li>・子育ての不安を軽減します</li> </ul>			
施策を取り巻く社会状況等	全国的に毎年の出生数が減少する一方で、核家族化の進行、就労形態の多様化などにより、子育てに対するニーズは高まっています。社会経済状況の著しい変化などに伴い、子育て家庭の経済的困窮や、孤立などが問題となっています。						

2. 評価指標

上段は目標値(令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値)、下段は実績値

区分	指標名(上段) 算出式・説明(下段)	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			子育てがしやすいまちと感じている市民の割合	%	74.00	80.00	80.00	80.00
	深谷市民まちづくりアンケート	%	80.00					
成果指標	ファミリーサポートセンター延べ支援件数	件	1,360.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00	1,721.00
		件	1,048.00					
	児童虐待管理数	件	82.00	81.00	81.00	81.00	81.00	81.00
		件	73.00					

3. 一次評価(今後の施策の方向性)

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
		子育てがしやすいまちと感じている市民の割合は近年70%台を推移していたが、令和4年度は80%に達しており、目標値以上となっている。今後もこの割合を維持できるよう子育て家庭を対象に、子育て環境を整備していく。ファミリーサポートセンター事業の支援件数が令和3年度まで上昇していたが、利用控えが見受けられ、令和4年度は前年度比673件減となっている。児童虐待管理数は減少している、引き続き関係機関と連携し対応を行っていく。		
		評価者	子ども青少年課長 美野田 芳二	

4. 改善改革プラン(3. 一次評価を受けての具体的な解決策)

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	より多くの市民が子育てしやすいまちと感じられるように、三世同居・近居支援事業の拡充を長年検討したが、十分な費用対効果が得られないと判断したため、令和4年度で事業を終了とする。ファミリーサポートセンター事業のひとり親等への利用料の軽減は令和3年度から開始しており、引き続き周知を行っていく。児童虐待管理数は減少しており、引き続き情報の収集及び子育て家庭のニーズの把握に努め、適切な支援ができるよう関係機関と連携を図り対応していく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価(所属長の見解)

子育てがしやすいまちと感じている市民の割合は、70%台から80%へと上昇している。引き続き子育て環境の整備を進め、更なる満足度の向上を目指していく。また、子育ての支援が必要な保護者や児童に対して、必要な支援を行えるよう、今後も関係機関と連携を図りながら支援を行っていく。	所属長	子ども未来部長 小林 利夫
---	-----	---------------